

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

現在、国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター 糖尿病・内分泌代謝内科および総合内科では、本センターで保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究を実施します。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 2型糖尿病患者におけるバスタブ入浴習慣の代謝パラメータへの影響に関する後ろ向き観察研究

[研究対象者]

2型糖尿病に対する治療のため、国立国府台医療センターに通院歴があり、2018年10月から2019年3月にかけて実施した、入浴習慣に関するアンケート調査に回答して頂いた患者さん（アンケート調査時点で20歳以上だった方）が対象となります。

[利用する診療情報等の項目と取得方法]

診療情報等：アンケート調査時・1年後・2年後・3年後・4年後・5年後・6年後の診断名・年齢・性別・既往歴・併存疾患・糖尿病合併症（特に心血管疾患）・身体計測項目・血液検査・尿検査・画像検査に関する情報をカルテから収集し利用します。

[利用の目的] （遺伝子解析研究： 無 ）

バスタブ入浴は日本人で特徴的な習慣の一つです。私たちは患者さんのご協力を頂き、2018年10月から2019年3月にかけて、入浴習慣に関するアンケート調査を行いました。最終的に約1300人の患者さんからご回答を得て、血液検査や身体測定結果などと比較した結果、バスタブ入浴の頻度が高い患者さんでは、血糖コントロールの指標であるHbA1cや、肥満度の指標であるBMIが低いとの結果が得られ、国内外の学会や論文として発表しました。今回、私たちはアンケート調査にご協力いただいた患者さんについて追跡調査を行い、その後の血糖や肥満度などの推移、さらに心血管疾患の発生状況などを調査します。

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2028年3月31日までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本センター倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立健康危機管理研究機構 理事長 國土 典宏

研究責任者：国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター

糖尿病内分泌代謝内科 医長 勝山 修行

研究内容の問合せ担当者：国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター

糖尿病内分泌代謝内科 勝山 修行

電話：047-372-3501（代表）（応対可能時間：平日9 時～17時）